

青森県経済統計報告

平成 20 年 11 月 5 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 20 年 10 月 1 日現在)..... 1

県人口	1,394,806 人(対前月 402 人 減少)
自然動態	262 人減少(出生者数 905 人、死亡者数 1,167 人)
社会動態	140 人減少(転入者数 1,688 人、転出者数 1,828 人)

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済は、全体として足踏み感が窺われる。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の 平成 20 年 8 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年 = 100)は、季節調整済 ... 2
生産動向 指数が 109.1 で、前月比 0.6%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 100.2 で、前年同月比 0.1%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成 20 年 8 月の定期給与は 225,730 円で前年同月比 0.5%増となった。 ... 3
総実労働時間は 153.0 時間で前年同月比 2.5%減、所定外労働時間は 9.5 時間で前年同月比 7.7%減となった。
平成 20 年 9 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.40 倍で、前月比 0.01 ポイント下回った。
- (2-3) 物価 平成 20 年 9 月の青森市消費者物価指数(平成 17 年=100)は、総合指数が ... 4
103.6 となり、前月と比べ 0.5%の下落、前年同月と比べ 3.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 平成 20 年 8 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 154 億 2 千万円で ... 5
前年同月比 0.9%増と 2ヶ月連続で増加したものの、既存店ベースでは 1.7%減と 2ヶ月ぶりに減少となった。
平成 20 年 9 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 3,873 台で、前年同月比 5.8%の減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 平成 20 年 9 月の新設住宅着工戸数は 524 戸で、前年同月比 9.5%減とな ... 6
り、2ヶ月ぶりに前年を下回った。
- (2-6) 電力 平成 20 年 9 月の大口電力使用量は 2 億 1,415 万 kWh で、前年同月比 1.3% ... 6
使用量 増となり、4ヶ月連続で前年を上回った。

(3) 景気動向指数(平成 20 年 8 月分)..... 7

先行指数	33.3%(6か月連続で50%を下回った)
一致指数	22.2%(4か月連続で50%を下回った)
遅行指数	33.3%(11か月ぶりに50%を下回った)

(4) 青森県景気ウォッチャー調査(平成 20 年 10 月期)..... 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DI... 15.9(前期比3.5ポイント減、5期連続で50を下回る)
3ヶ月後の景気の先行き判断DI... 20.5(前期比1.0ポイント減、5期連続で50を下回る)

1 青森県の推計人口(平成20年10月1日現在)

【概況】

平成20年10月1日現在の本県推計人口は、1,394,806人で、前月に比べ402人の減少となった。

○自然動態

出生者数が905人、死亡者数が1,167人で、262人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,688人、転出者数が1,828人で、140人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	社会増減数		県外からの転入者数	県外への転出者数		
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-		
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-		
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-		
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-		
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-		
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-		
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-		
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-		
19.10.1	1,408,589	663,460	745,129	-0.042%	-587	-277	765	1,042	-310	1,710	2,020
19.11.1	1,408,039	663,193	744,846	-0.039%	-550	-321	982	1,303	-229	1,743	1,972
19.12.1	1,407,522	662,925	744,597	-0.037%	-517	-420	826	1,246	-97	1,309	1,406
20.1.1	1,406,738	662,556	744,182	-0.056%	-784	-534	769	1,303	-250	1,162	1,412
20.2.1	1,405,587	661,894	743,693	-0.082%	-1,151	-691	838	1,529	-460	1,126	1,586
20.3.1	1,404,462	661,311	743,151	-0.080%	-1,125	-512	795	1,307	-613	1,146	1,759
20.4.1	1,398,130	657,775	740,355	-0.451%	-6,332	-483	844	1,327	-5,849	4,045	9,894
20.5.1	1,397,463	657,462	740,001	-0.048%	-667	-531	818	1,349	-136	4,218	4,354
20.6.1	1,396,659	656,939	739,720	-0.058%	-804	-272	936	1,208	-532	1,299	1,831
20.7.1	1,395,953	656,474	739,479	-0.051%	-706	-357	862	1,219	-349	1,366	1,715
20.8.1	1,395,716	656,395	739,321	-0.017%	-237	-267	895	1,162	30	1,886	1,856
20.9.1	1,395,208	656,115	739,093	-0.036%	-508	-271	858	1,129	-237	1,907	2,144
20.10.1	1,394,806	655,857	738,949	-0.029%	-402	-262	905	1,167	-140	1,688	1,828

9月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平10.9	11.9	12.9	13.9	14.9	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9
自然動態	出生者数	1,197	1,107	1,127	1,030	1,046	1,040	986	942	940	765	905
	死亡者数	1,025	1,002	894	941	1,060	1,139	1,106	1,091	1,086	1,042	1,167
	自然増減数	172	105	233	89	-14	-99	-120	-149	-146	-277	-262
社会動態	県外からの転入者数	1,931	1,757	1,867	1,643	1,758	1,842	1,618	1,738	1,590	1,710	1,688
	県外への転出者数	1,685	1,878	1,708	1,758	1,935	2,082	2,012	2,131	1,872	2,020	1,828
	社会増減数	246	-121	159	-115	-177	-240	-394	-393	-282	-310	-140

1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

3 算出方法

県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数(出生者数 - 死亡者数) + 社会増減数(県外からの転入者数 - 県外への転出者数)

2 本県の経済動向

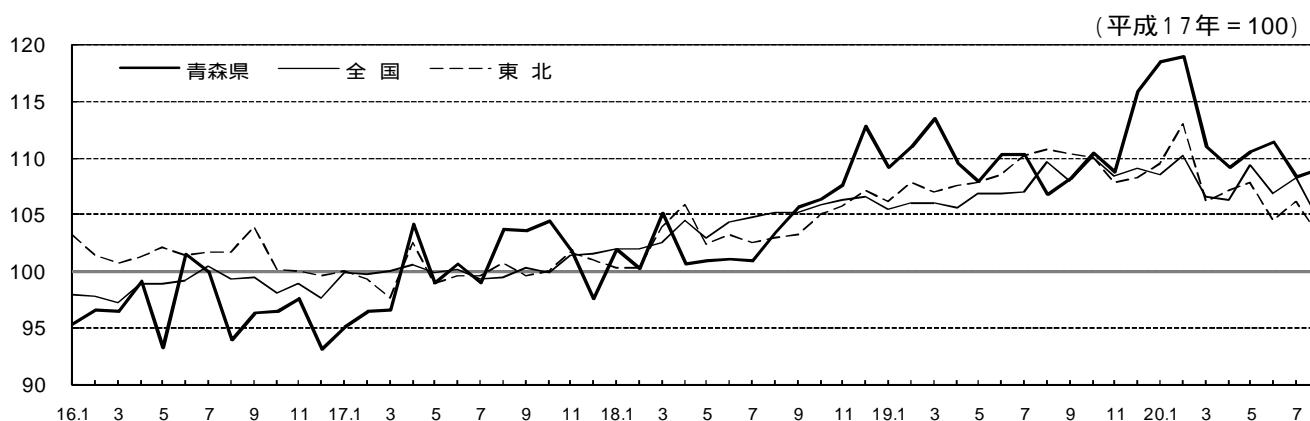
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成20年8月の青森県鉱工業生産指数(平成17年=100)は、季節調整済指数が109.1で、前月比0.6%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は100.2で、前年同月比0.1%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが上昇に寄与した一方、一般機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業などが低下し、鉱工業全体では0.6%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移 (季節調整済指数)

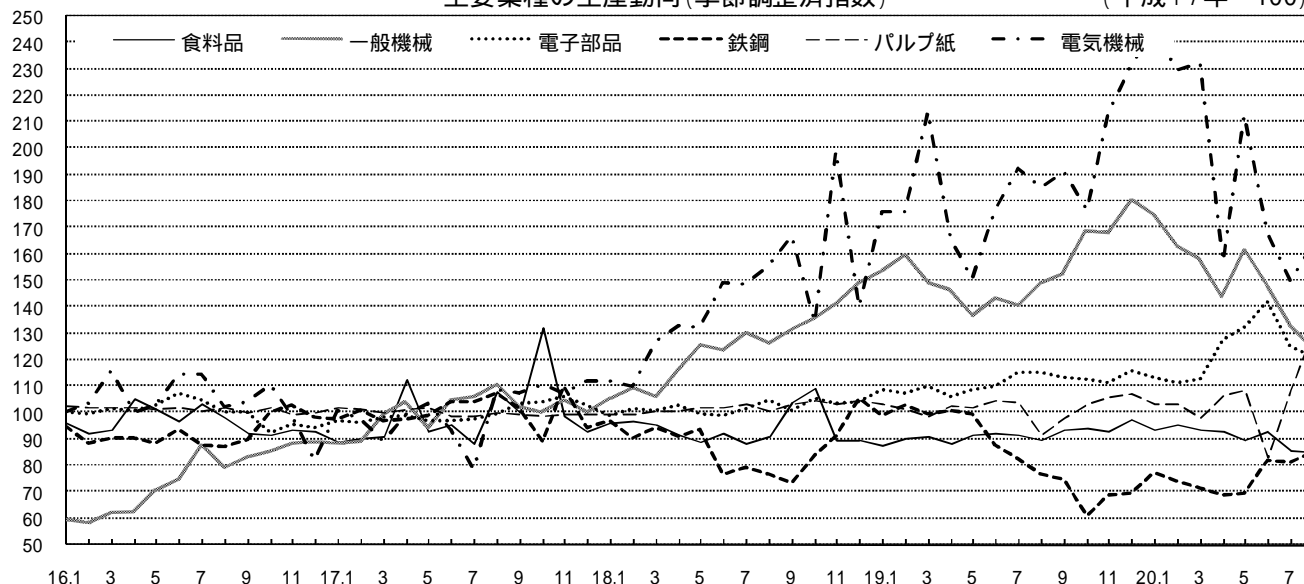


業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +0.6%

業種	プラス		マイナス		
	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	89.3	51.4	一般機械工業	-7.1	-19.3
金属製品工業	39.0	35.8	繊維工業	-13.2	-8.5
パルプ・紙・紙加工品工業	21.2	30.1	電子部品・デバイス工業	-3.3	-7.4
電気機械工業	9.4	12.6	窯業・土石製品工業	-5.9	-3.2
その他製品工業	75.3	6.5	印刷業	-6.2	-2.8

主要業種の生産動向 (季節調整済指数)

(平成17年=100)



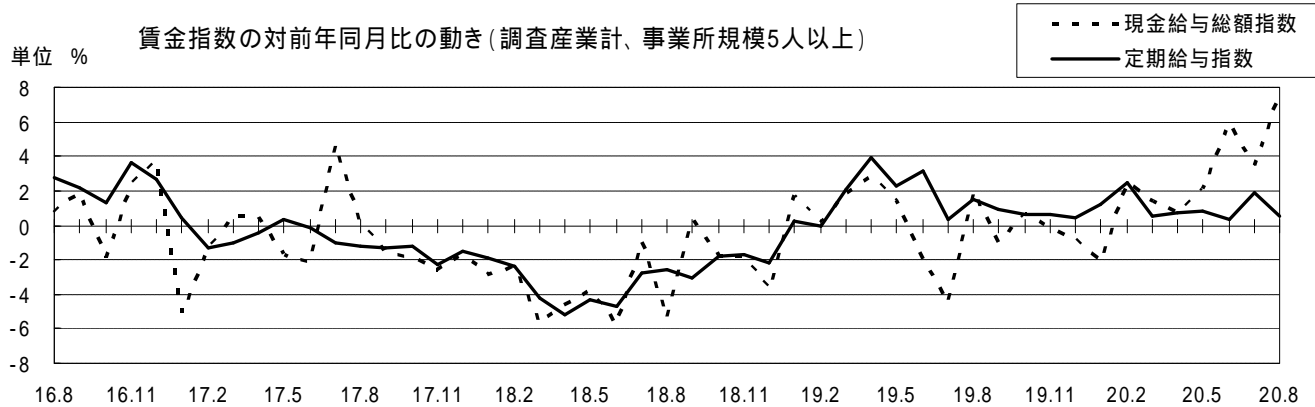
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成20年8月の定期給与は225,730円で定期給与指数(平成17年=100)では98.1となり、前年同月比0.5%増(現金給与総額254,464円、現金給与総額指数93.3、前年同月比7.7%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.8となった。

総実労働時間は153.0時間で、総実労働時間指数は96.0となり、前年同月比2.5%減となった。このうち、所定外労働時間は9.5時間で、所定外労働時間指数では96.0となり、前年同月比7.7%減となった。

平成20年9月の有効求人倍率(季節調整値)は0.40倍で、前月比0.01ポイント下回った。

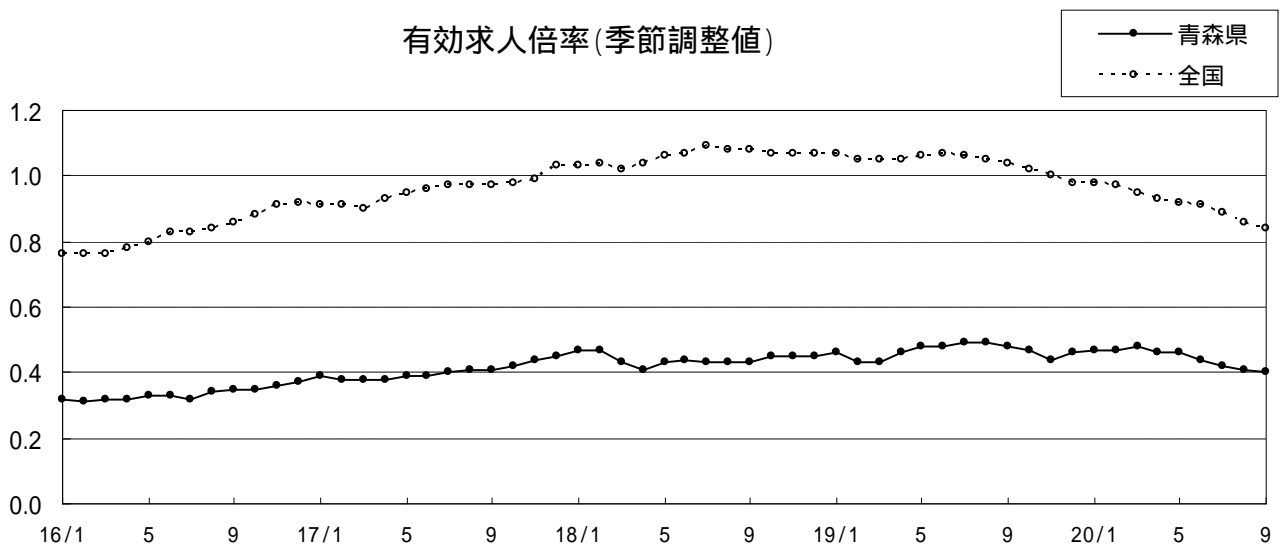


賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	254,464 円	284,657 円	93.3	85.9	7.7 %	0.1 %
定期給与	225,730 円	269,325 円	98.1	99.7	0.5 %	0.4 %
特別給与	28,734 円	15,332 円				
総実労働時間	153.0 時間	144.3 時間	96.0	95.7	-2.5 %	-2.4 %
所定内労働時間	143.5 時間	134.1 時間	96.1	95.7	-2.0 %	-2.4 %
所定外労働時間	9.5 時間	10.2 時間	96.0	96.2	-7.7 %	-2.9 %

(注) 1. 定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。
2. 前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2 - 3) 物価

平成 20 年 9 月の青森市消費者物価指数（平成 17 年=100）は、総合指数が 103.6 となり、前月と比べ 0.5% の下落、前年同月と比べ 3.4% の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は 103.8 となり、前月と比べ 0.4% の下落、前年同月と比べ 4.0% の上昇となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は 98.8 となり、前月と比べ 0.2% の上昇、前年同月と比べ 0.5% の上昇となった。

総合指数が前月と比べ 0.5% の下落となった内訳を寄与度でみると、交通・通信、光熱・水道などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が 3.4% の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

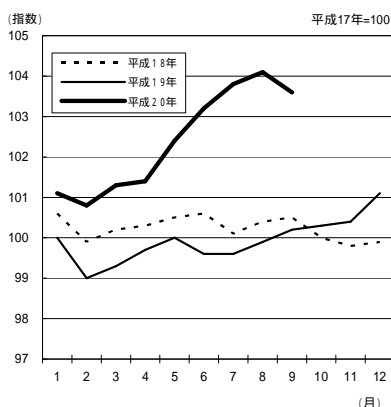


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

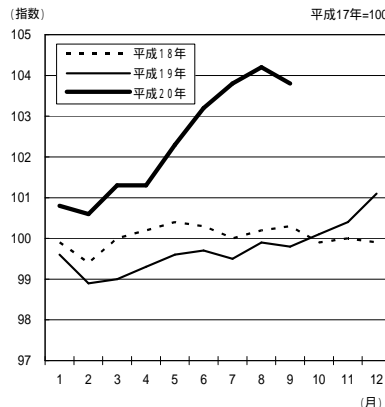
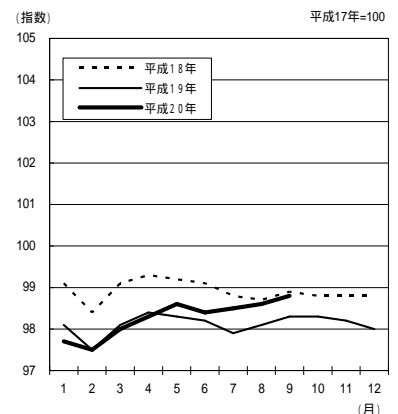


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成 17 年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家 賃を除く 総合	食料(酒類 を除く)及 びエネル ギーを除く 総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・ 水道	家・具 ・事 用品	被及履 及び物	服 及び物	保 及び物	健 及び物	交通・ 通信	教 及び物	教 及び物	養 及び物	諸 及び物
当月指数	103.6	103.8	104.5	98.8	102.3	99.8	99.6	128.3	96.9	100.7	99.1	106.2	101.7	95.1	101.7			
前月比 (%)	0.5	0.4	0.5	0.2	0.4	2.4	0.0	1.9	1.0	7.7	0.4	2.4	0.0	1.2	0.1			
寄与度	0.48	0.36	0.40	0.12	0.11	0.14	0.00	0.24	0.03	0.28	0.02	0.27	0.00	0.12	0.01			
前年 同月比 (%)	3.4	4.0	4.1	0.5	2.3	5.8	0.4	19.1	4.6	1.7	0.4	5.3	0.5	2.0	1.3			
寄与度	3.39	3.77	3.44	0.32	0.66	0.34	0.08	2.05	0.13	0.07	0.02	0.57	0.02	0.19	0.07			

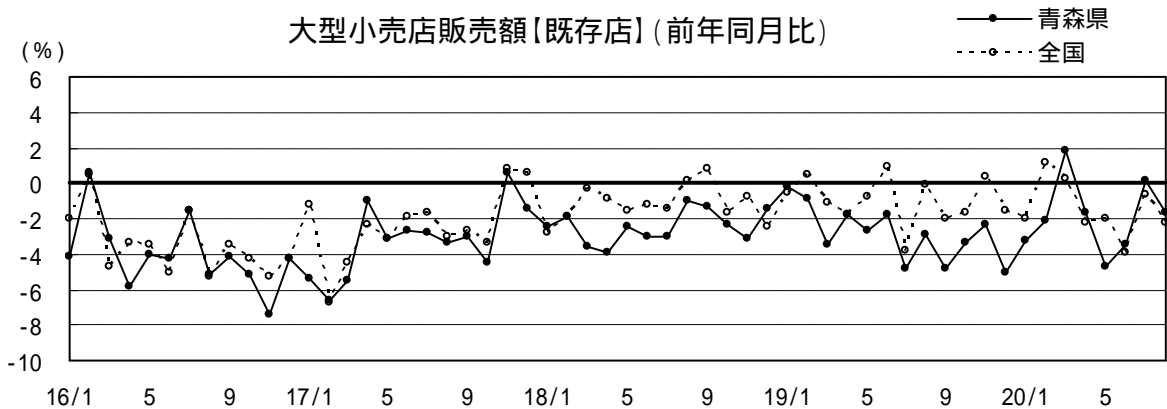
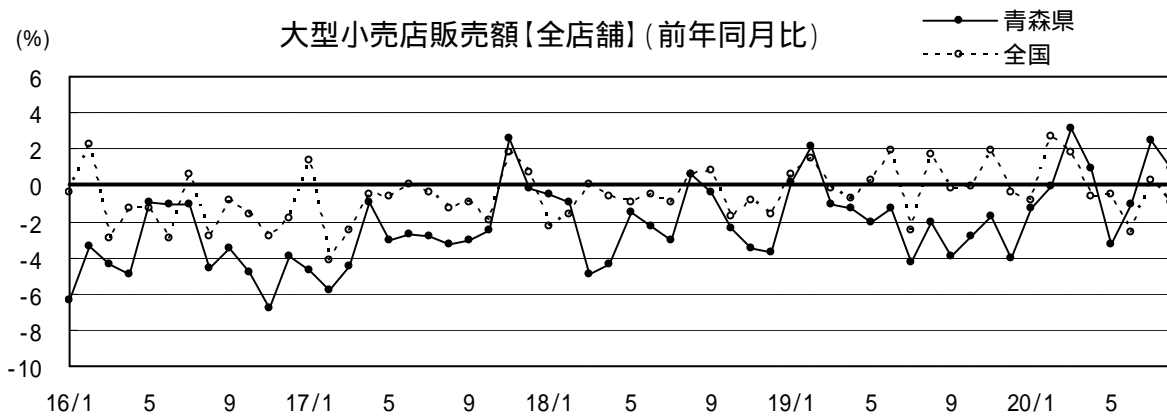
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

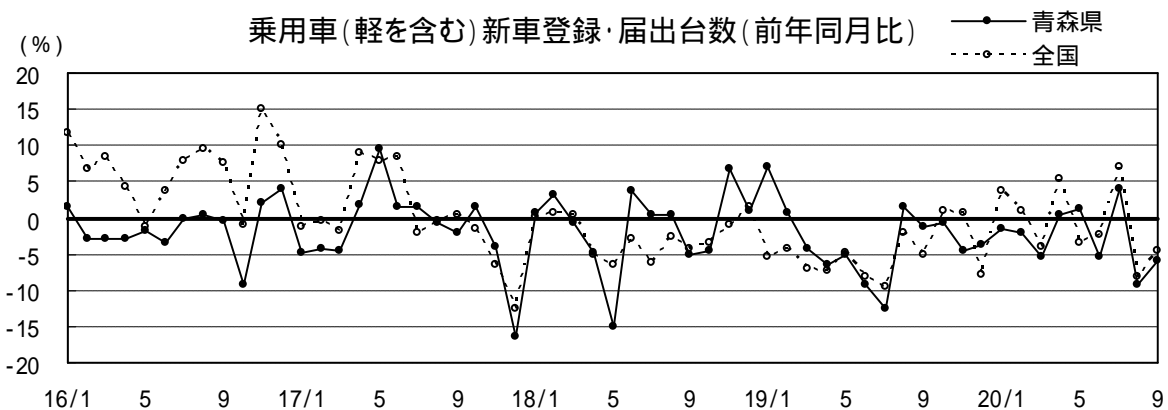
平成20年8月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが154億2千万円で前年同月比0.9%増と2ヶ月連続で増加したものの、既存店ベースでは1.7%減と2ヶ月ぶりに減少となった。衣料品が全般的に伸び悩んだことから、百貨店は23ヶ月連続で、スーパーは2ヶ月ぶりに前年を下回った。

平成20年9月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,873台で、前年同月比5.8%の減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車いずれも減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

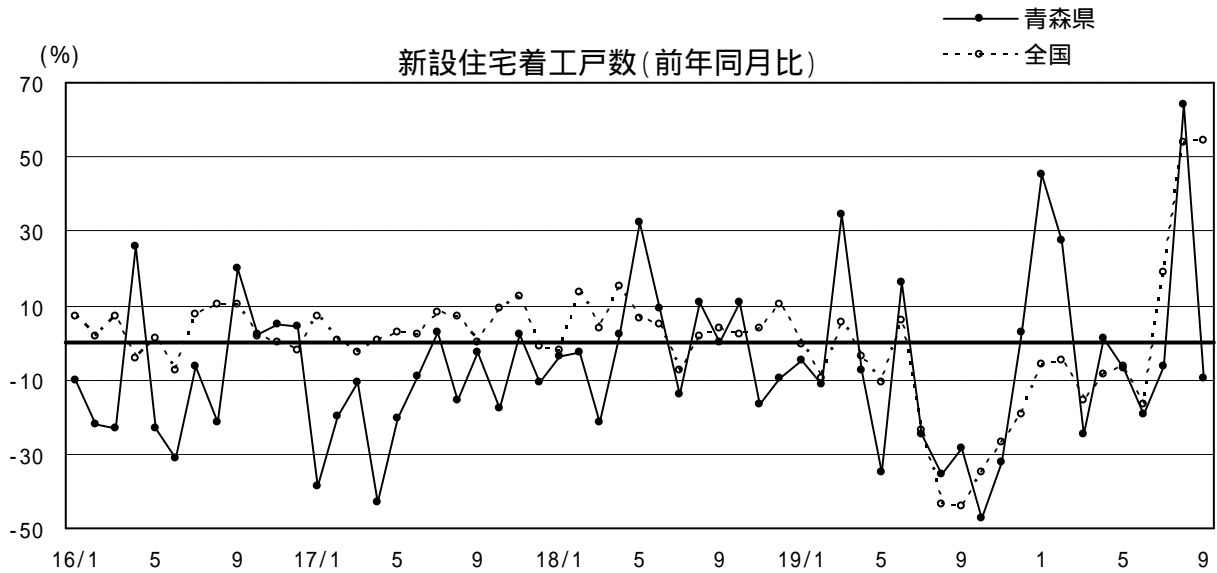
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2 - 5) 住宅建設

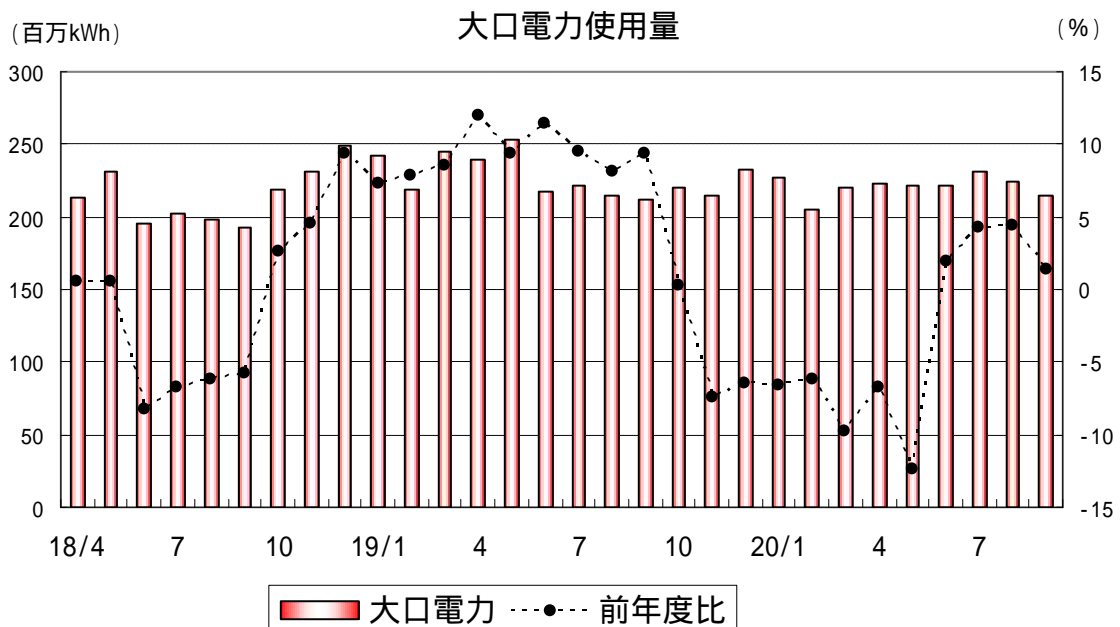
平成20年9月の新設住宅着工戸数は524戸で、前年同月比9.5%減となり、2ヶ月ぶりに前年を下回った。持家と貸家が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2 - 6) 電力使用量

平成20年9月の大口電力使用量は2億1,415万kWhで、前年同月比1.3%増となり、4ヶ月連続で前年を上回った。「鉄鋼」などが稼働増となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

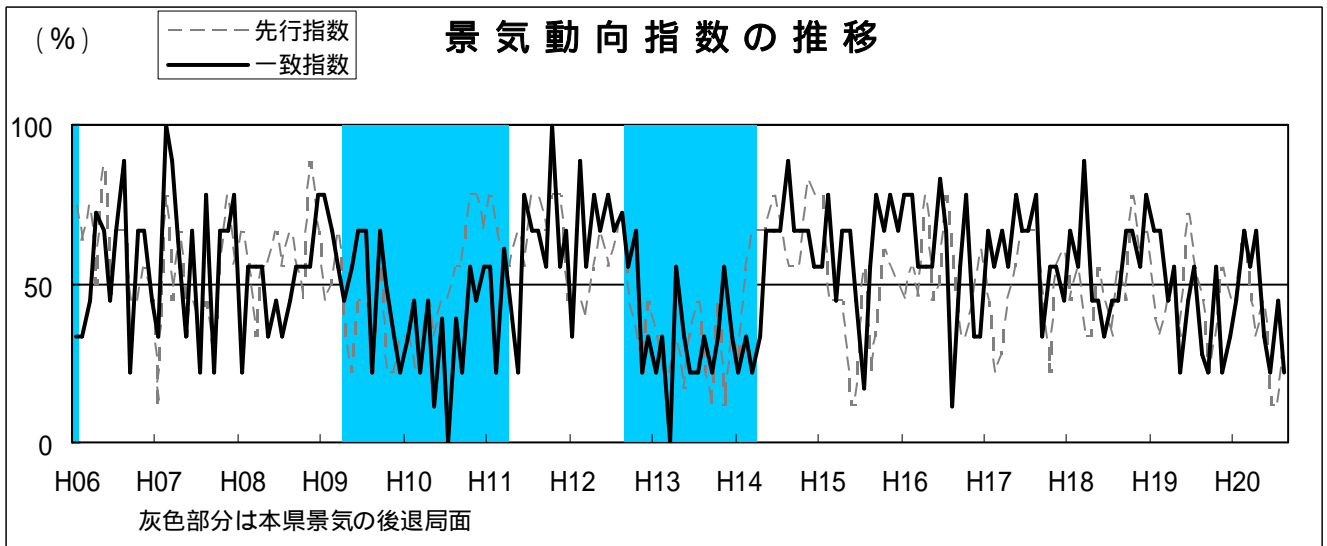
平成20年8月の青森県景気動向指数は、先行指数33.3%、一致指数22.2%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、6か月連続で50%を下回った。

一致指数は、4か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、11か月ぶりに50%を下回った。

8月の一致指数は、消費、生産、労働関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中3指標がプラス）			
生産財生産指数	3か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	2か月ぶり
入職率（製造業）	3か月ぶり	新規求人倍率（全数）	5か月連続
新設住宅着工床面積	4か月ぶり	所定外労働時間指数	4か月連続
		建築着工床面積	2か月連続
		企業倒産負債額	3か月連続
		中小企業景況DI	10か月連続
一致系列（9指標中2指標がプラス）			
大口電力使用量	3か月連続	大型小売店販売額（既存店）	2か月ぶり
総実労働時間数（全産業）	4か月ぶり	鋳工業生産指数	4か月連続
		電気機械生産指数	5か月連続
		有効求人数（全数）	10か月連続
		海上出入貨物量（八戸港）	2か月ぶり
		東北自動車道IC利用台数	4か月連続
		日銀券月中発行高	4か月ぶり
遅行系列（6指標中2指標がプラス）			
輸入通関実績（八戸港）	4か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	3か月連続
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	11か月連続	常用雇用指数（製造業）	12か月連続
		1人平均月間現金給与総額	3か月連続
		単位労働コスト（製造業）	3か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(4) 青森県景気ウォッチャー調査

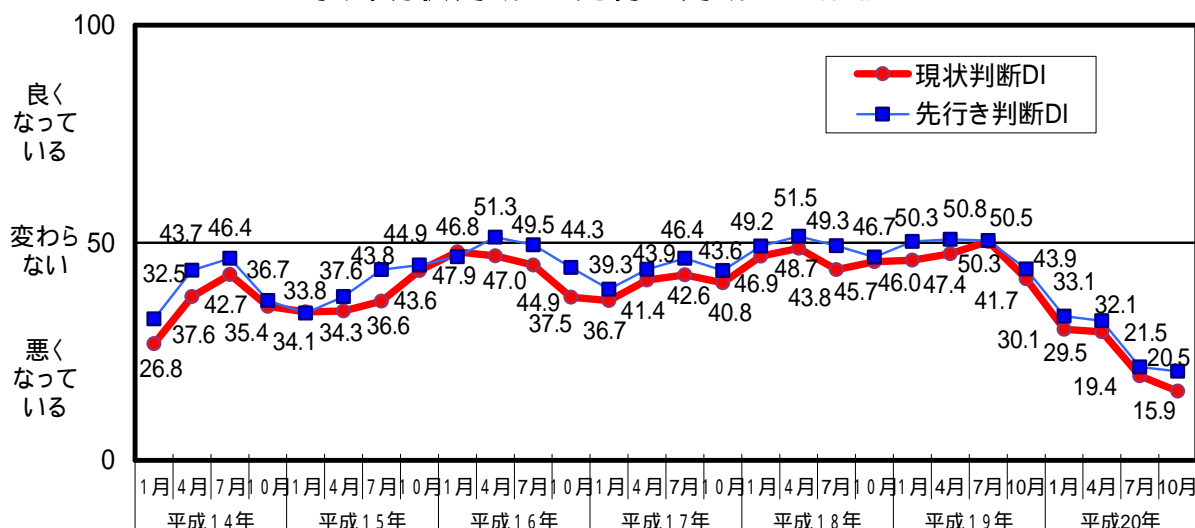
平成20年10月期の景気ウォッチャー調査は、10月1日～10月16日を調査期間とし、回答率は99%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは15.9で、前期調査を3.5ポイント下回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは20.5で、前期調査を1.0ポイント下回った。

10月期は、景気の現状判断DIが5期連続、先行き判断DIが6期連続低下し、いずれも5期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



3か月前と比べた景気の現状判断

動向	<p>前期調査と比べると、「悪くなっている」が9.1ポイント増加したことにより、全体では3.5ポイント減の15.9となり、5期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、食料品をはじめとする諸物価の高騰や世界的金融情勢の不安定により消費が低迷しているとの意見が多かったほか、需要低迷による出荷量の伸び悩みや仕入れ価格の上昇、経費の増加による企業収益の悪化、また、消費動向の低下による売り上げ・利益の減少をあげる声があった。</p>
	<p>前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

3か月後の景気の先行き判断

動向	<p>前期調査と比べると、「やや良くなる」が2.0ポイント、「悪くなる」が6.0ポイント増加したことにより、全体では前期を1.0ポイント下回る20.5となり、5期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、秋から年末にかけて景気対策による消費回復を期待する声がある一方、灯油需要期を迎え他の消費の落ち込みを懸念する声や県内の大型倒産の影響を懸念する声が多かった。</p>
	<p>前期調査に比べて、津軽、下北地区においてポイントが増加したが、東青、県南地区においてはポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

3か月前と比べた景気の現状判断理由

販売が思うように出ない。(乗用車販売=東青)

食料品の値上が今だにつづき、お客様の買い控えが目立つ。又、酒類部門では、ケース売りよりバラ売り、6缶パックが売れている。(スーパー=津軽)

銀行の融資がつかなくて契約にならないケースが増えている。銀行の融資が厳しくなっている。(住宅建設販売=県南)

世界的金融情勢が不安定で消費が低迷している上に金融機関の貸出しが渋くなっている。(経営コンサルタント=県南)

原燃料価格高が継続する中、需要の低迷から製品出荷量が伸び悩んでいる。(紙・パルプ製造=県南)

諸物価の高騰で消費者が財布のひもを緩める気配は一向にない。企業も積極的に広告を打って販促策に出るより、「今はじっと耐える時」という風潮すらある。広告・折り込みチラシの売り上げに、これがはっきりと表れている。(新聞社求人広告=津軽)

×仕入価格の上昇、経費の増加による収益の悪化。先が見えない状況の為、消費控えによる売上の減少。(都市型ホテル=東青)

×原油高騰に伴い、資材等業者より値上依頼が来ている。(飲料品製造=津軽)

×確実に消費動向が落ちている。値上げの嵐で、ついでに買い物がなくなっている。割引するとそれなり売れるが、利益につながらない。(食料品製造=下北)

3ヵ月後の景気の先行き判断理由

秋から年末にかけて、景気対策がとられ、一時的にしる多少消費が回復すると思う。(パチンコ=東青)

景気優先政策と、秋に入り、婚礼や文化的催事や年末に近づく需要拡大を望んでいる。気候次第も影響する。(美容院=県南)

普段の売上は伸びませんが、近くの町村で文化祭り等のイベントがある日は、行き帰りのお客様で賑わいます。その日は売上もいいです。10、11月は期待できるかなあと考えています。(観光名所等=県南)

ガソリン価格は落ちつきをみせているが、他の物価は高止まりの状態と金融問題は完全解決に至らず、これから年末に向け企業は金づまりからボーナス等に影響が出ると思います。(タクシー=下北)

毎年、秋期は仕事量が多いが、今年は全く上向きになる兆しが見受けられない。(広告・デザイン=津軽)

産業用製品は景気の冷えこみの影響をすでに受けています。設備投資がないので一般製品もだんだん売れなくなると考えられます。(現在すでに欧米向けは製造がストップしています。)(電気機械製造=県南)

×ガソリン価格は若干落ちつきを取り戻したものの、それでも前年と比べると高めになっており、これからの灯油需要期を考えると、それ以外の出費の抑止は避けられないのではないか。(商店街=東青)

×スーパー・オフィス機器文具卸・石油小売り大手の大型倒産により悪影響の波及が広がると思う。(一般小売店=津軽)

×自動車関連の求人が不景気下で激減の様相をみせはじめており、加えて不動産、建設業関連企業の動きにブレーキがかかっているように見える。(新聞社求人広告=東青)

記号の意味：良くなっている、やや良くなっている、変わらない、やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」